

## 事務事業評価調書

事務事業名	休日急病診療所事務事業				
担当部名	健康医療部	室課名	地域医療推進室休日急病診療所	室課長名	事務長

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和53年度	改正 内容	平成27年2月22日付けで、「出口町19番2号(保健センター4階)」へ移転し、暫定運用しています。											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	医療法、吹田市立休日急病診療所条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	日曜日・国民の祝日及び年末年始の昼間における内科、小児科、外科、歯科の急病患者。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	日曜日・国民の祝日及び年末年始の昼間における内科、小児科、外科、歯科の急病患者を対象に診療を行います。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	急病患者の診療体制を確保し、誰もがその症状に応じ、適切な医療を受け入れられることで、市民が安心して安全に暮らすことができます												
(7)	事業概要	吹田市立休日急病診療所は、日曜日・国民の祝日及び年末年始の日におきまして、吹田市医師会、吹田市歯科医師会及び吹田市薬剤師会の協力を得て、昼間の急病患者に対して、応急的な医療を市民の皆様提供しています。 診療科は、内科、小児科、外科、歯科の4診療科です。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	13	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		65,494	72,286	59,095	60,155	58,890							
		人件費	職員数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00						
			総額(B)	千円	16,600	15,894	16,704	16,704	16,340						
		総事業費(A+B)		82,094	88,180	75,799	76,859	75,230							
		特定財源(C)		36,721	50,937	36,719	38,199	36,719							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	36,721	50,937	36,719	38,199	36,719							
		市負担(D)		45,373	37,243	39,080	38,660	38,511							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	45,373		37,243	39,080	38,660	38,511									
財源計(C+D)		82,094	88,180	75,799	76,859	75,230									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	受診者数	目標値	(単位:人)	4,650.00	4,700.00	4,700.00
			実績値	(単位:人)	5,725.00	4,320.00	/	
		達成度(%)			123.1	91.9		
	目標値の積算方法	受診者見込み数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		15.24		17.79
				一般財源(単位:千円)		7.32	8.95	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容	休日急病診療所は患者数が全てで、活動指標と成果指標を区別することが困難なため。				達成状況	日曜日・国民の祝日及び年末年始の日において、応急的な医療を市民の方々に提供していることに対し大きく寄与しています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		市民の方々のニーズは多分にあり、吹田市として市民の安心・安全な初期救急体制を維持するため、現在の休日急病診療所の継続は必要不可欠であると考えています。					

## 事務事業分析シート

所属名	休日急病診療所	事業名	休日急病診療所事務事業	事業区分	その他
事務事業番号	00625				

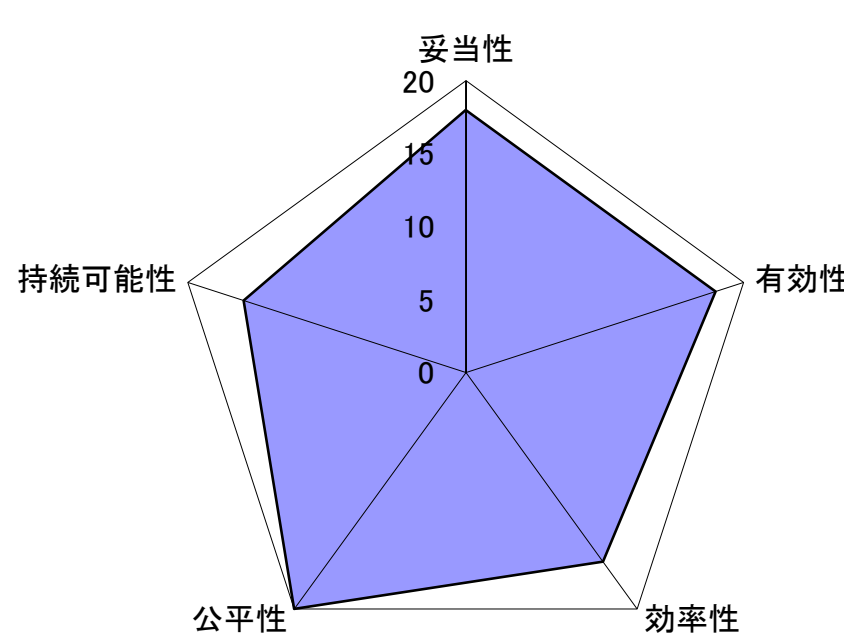
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	休日急病診療所	事務事業番号	00625
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>・患者数の推移は  平成23年度は、5,041人(1日平均71.0人)、平成24年度は、4,958人(1日平均68.9人)、  平成25年度は、4,960人(1日平均69.9人)、平成26年度は、5,725人(1日平均79.5人)、  平成27年度は、4,320人(1日平均60.0人)、  となっており、平成23年度以降はインフルエンザ等の流行により、患者数は増加傾向を示しています。特に、平成26年度は年末年始のインフルエンザの流行により、患者数は前年度に比べ15.4%増加しています。平成23年度から平成27年度までの患者数の平均は5,001人で、1日平均では69.9人となっています。  ・当診療所に対応できない患者については、二次救急病院(吹田市民病院等)へ転送しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

休日急病診療所が入居する済生会千里病院敷地内(津雲台1丁目)にある千里医療会館の建替えに伴い、同診療所は平成27年2月22日から保健センター4階へ移転し、暫定的に運営を行っています。しかし、保健センターは複合施設であり、感染症への対応が懸念されるため、早急に恒久的な運営場所を含めた検討が必要になっています。